



今月は看護部が担当いたします！

「“食べる”を支えるもう一つの方法～胃ろう(PEG)という選択」

病気や加齢の影響で口から食事をとることが難しくなることがあります。「無理に食べさせないといけないの?」「点滴でいいのでは?」と迷うご家族も多い中、胃ろうという選択肢があります。胃ろうは「生きるために栄養をとる」方法の一つとして、医療や介護の現場でも重要な役割を果たしています。今回のかわら版では、その「胃ろう」についてお話いたします。



<胃ろう(PEG)とは?>

胃ろうは、お腹に小さな穴をあけて、直接胃にチューブを通し、そこから栄養や薬を入れる方法です。麻酔をして行う処置で、手術は30分ほど。体への負担は比較的少ないと言われています。

<胃ろうはこんな方に検討されます!>

- ・脳卒中の後遺症で飲み込みが難しくなった方
- ・認知症が進んで食事が出来なくなった方
- ・病気や老衰で全身の機能が低下している方 など...

<胃ろうを作る主な目的>

①栄養をしっかりとるため

食べられない・食べる量が少なく体力や免疫力が落ちてしまいます。胃ろうにより必要な栄養を安定して取ることができます。また、薬を安全に投与することもできます。

②誤嚥を防ぐため

口から食べることで誤って気道に入ってしまう(誤嚥)の危険がある場合、胃ろうにより誤嚥性肺炎のリスクを下げるができます。

③脱水や低栄養を防ぐため

水分や薬も胃ろうから入られるため、脱水や栄養失調を予防できます。

④食べる機能のリハビリを支えるため

胃ろうをしながら、状態が良くなれば、口から食べる訓練(嚥下リハビリ)も併用できます。

※裏面ではメリットとデメリット、よくある誤解についてご説明します!



vol. 65/10月号
発行/地域医療連携室
後援/せたな町



ホームページ



LINE / ライン



Instagram



Tik Tok

病院公式SNSも
ご登録ください😊



今月のひとさら

生姜を美味しく食べよう!
～千葉の郷土料理 なめろう～

今月の担当: 栄養士 杉村 瑚都

段々と冬に近づき、寒さが目立つ季節となりました。体調を崩しやすいこの時期は生姜を食べて身体を温めましょう! 生の生姜に含まれるジンゲロールは血流の促進、加熱や乾燥した生姜に含まれるショウガオールは体内の脂肪や糖質を燃焼して体温を上昇させます。今回は生の生姜を美味しく食べれるレシピをご紹介します!

材料

- ・青魚や白身魚の刺身…100g
- ・生姜…10g
- ・ネギ…3～5g 大葉…1枚
- ・味噌…10～12g
- (・醤油…少々)

作り方

- ・材料を全て細かく刻み、粘り気が出るまで包丁でたたく
- ※薬味は一気に入れず味を見ながら、醤油は固さや味を調整のため少しずつ入れるのがオススメです!

【皮膚科外来診療案内】

<令和7年10月>

日にち	午前診療	午後診療
3日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
4日(土)	8:30～11:30	
17日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
18日(土)	8:30～11:30	
31日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後

<令和7年11月>

日にち	午前診療	午後診療
1日(土)	8:30～11:30	
14日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
15日(土)	8:30～11:30	
28日(金)		14:00～16:00 *病棟回診後
29日(土)	8:30～11:30	



<胃ろうのメリットとデメリット・注意点>

メリット
・長期間、安定して栄養を摂ることができる
・鼻からのチューブ(経管栄養)と比べて違和感や痛みがない
・口や鼻の粘膜のトラブル(ただれや出血など)が起きない

デメリット・注意点
・手術(内視鏡を使う比較的短時間の処置)は必要
・皮膚の周囲に感染や炎症が起きることがあるためケアが必要
・胃ろうを作っても、誤嚥が完全になくなるわけではない(唾液や胃液が期間に入る可能性は残る)

<よくある誤解と正しい理解>

○誤解1: 胃ろうにするともう口から食べられない??

➡いいえ。胃ろうをしても、状態が良くなれば口からの食事も可能です。並行して練習(リハビリ)する方もいます。

○誤解2: 胃ろう=延命治療??

➡胃ろうは延命だけが目的ではなく、栄養をしっかりと届ける手段です。本人の希望や生活の質を重視して選びます。

○誤解3: 胃ろうをすると、すぐに寝たきりになる

➡寝たきりになる原因は、基礎疾患の進行や体力の低下です。胃ろうはそうした体の負担を軽減し、リハビリや日常生活を支えるための手段です。

○誤解4: 高齢者に胃ろうをしても意味がない

➡その方の状態や希望によって有効な選択肢になります。年齢だけで判断せず、本人の体調や回復の見込み、生活環境などを総合的に見て判断する必要があります。ご本人やご家族と十分に話し合い「その人らしく生きるため」にどうするかを考えることが大切です。

※胃ろうについて詳しくお聞きになりたい方は医師や看護師にお気軽にお問い合わせください。

かわら版vol61. (6月号)

でお届けしました

「人生会議」

について追加情報です!

「人生会議」について、誤解が無いように知っていただくため、厚生労働省から出ている『漫画で読む「人生会議」誤解編』をご覧ください(看護部)。



薬剤部からの豆知識

どうしてワクチンを接種する必要があるの??

・自分を守ることと社会を守ること

予防接種を受けた人はその感染症から守られます。また、多くの人が予防接種を受けることにより社会全体からその感染症が減り、結果的に予防接種を受けていない人たちも感染症から守られることになります。

・合併症を起こさない

感染症を発症することによって、まれに起こるいろいろな合併症(例えば、脳炎や肺炎など)を起こす危険もあります。また、自分が病気にかかることにより、周りの人にその病気を広げてしまうこともあります。*(参考文献 日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」より)

道南ロイヤル病院では例年通りインフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチンの接種を行う予定です。詳しくはかわら版やLINEなどでお知らせいたします。

